

キャラクター名
古間木間古 (フルマキ マコ)

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー		ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	養護教諭
	サラマンダー					
オプション			年齢	27	性別	男
覚醒	感染	衝動	憎悪	初期侵食率	32	%
出自	兄弟	経験	喪失	邂逅	借り	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	30
肉体	4	0	0			4	行動値	2
感覚	0	1	0			1	(非装備時)	4
精神	2	0	0			2	戦闘移動	9
社会	2	0	0	1		3	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		RC	1		交渉		
回避			知覚	6		意志	4		調達	18	
運転:自動二輪	4		芸術:			知識:レネゲイド	5		情報:UGN	6	
運転:			芸術:			知識:			情報:裏社会	6	
運転:			芸術:			知識:			情報:ゼノス	4	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
クリスタルシールド	白兵	4r-1	12			

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
プロテクトアーマー	25	10	-3	-2	ラウンド1回 ガード値+3

所持品	
ウェポンケース	
復讐のタグ	
マクスウェルシステム	
守護者の手袋	

合計装甲: 10 合計回避: -3

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
先行種アソミテッドエゴアルP		N		
GU浅木 美繰 P	感服	N	悔悟	
REベロニカ・クルニコワ P	信頼	N	不安	
		N		
		N		
		N		
		N		

最大財産P: 42 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
炎陣	1	2	オート	至近	自身			
効果:	カバーリング 1M1回							
氷の城塞	5	3	セット	至近	自身			
効果:	ラウンド間被ダメージ-LV*3 移動で解除							
氷盾	5	3	オート	至近	自身			
効果:	ガード値+LV*5							
氷雪の守護	5	3	オート	至近	単体			
効果:	ダメージ直前、ダメ-LVD10 1R1回							
極大消滅波	7	4D10	イニシアチブ	視界	範囲選択	自動	120↑	
効果:	対象にLV+2D10のダメージ。リアクション不可、1S1回							
揺るぎなき心	1	1	マイナー					
効果:	バットステータスをLv+1個解除する							
氷熱の軍団	7	10	イニシアチブ	視界	シーン選択	自動	120↑	
効果:	ラウンド間対象の攻撃力+Lv*4 1S1回							
エネルギーシールド	1			5			100↑	
効果:	ガ不、リ不をガードする シナリオ1回							
吹雪の守護	1			2	範囲選択		80↑	
効果:	氷雪を範囲選択に							
氷河の腕甲	5	3	マイナー					
効果:	シーン間、自身のガード値Lv*3							
凍結保存	★		メジャー					
効果:	人体凍結術							
氷の理	★		メジャー					
効果:	物体凍結術							
効果:								

「俺のこの身はただひとつの目的を成すためだけの装置である」
「魂は常に業火にさらされ、心はひとつの想いを忘れぬよう凍てつく」
一人称:俺
二人称:お前
テンション:低血圧の人が叩き起こされて1分目くらいの状態

以前まではクロスブリードとしてUGNエージェントの任務にあたっていた。だがそこである男と出会った。それは一酸化炭素によって満たされ、灰によって視界を塗られた私のチームのベースキャンプ地だった。仲間たち浅木鉄牙-ガーベラストレート-は私の名をいつもの声色で呼ぶことも、その見飽きた顔に笑みを浮かべることなく土を、またあるものは未だ燃え続ける車両に寄り添い寝転んでいた。絶望に暮れる私に男は囁いた

「彼女を守りたければ、悪魔に魂を売ってみては」

その男の指す先にはかろうじて胸を上下させる仲間がいた。視界も思考も思想もすべてが死によって塗りつぶされた。その男にあらん限りの力と技と心をもって挑み、腕一本を残し打ち捨てられた。男は笑う、それでは駄目だと。男は語る、これを与えよう。残された左腕が男の足を掴む、それと同時に私の背を何かが貫き、そして全てが焼かれた。
■■■の思い出も私のレネゲイドであった■■■■、■■■■も。ただその男へのこの想いを残し全てが。

ネフシュタン的心臓-インフィニティコード-

という感じの復讐者です。腕や足は無事であった仲間のものを移植し事なきを得ました。しかし適合性が高くなく徐々に壊死して逝くのを「凍結保存」にて食い止めてます。そのため触れるものの多くを「氷の理」します。